

実施学年	1年	実施教科 (科目)	音楽	実施日	H24.10.18
単元名	詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう。				
本時の内容 (項目)	鑑賞『魔王』				
本時の目標	詩の内容と曲想に注目し、電子黒板で演奏している様子を見たり、楽譜から音の高さの変化を感じ取ったりすることを通して、4人の登場人物を一人で表す作曲の工夫を感じ取って鑑賞することができる。				
授業場所	音楽室	ICT活用時 の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・ <b>展開</b> ・まとめ・他( )		ICTの主な 活用者	<b>教師</b> ・生徒	
活用するICT 機器	電子黒板、CDデッキ				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	電子黒板を使用し、音楽の様々な要素へ意識を向けてしまうのではなく、注目させたい部分の焦点化を図り、その部分での作曲の工夫を感じ取らせたい。生徒が感じ取りやすい強弱だけでなく、音の高低や伴奏の工夫に意識を向けることができるかと予想される。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容					
利用するコン テンツ名・サ イト等	なし				
参考にしたサ イト・文献 等	なし				
事前の準備	・電子黒板で表示するための、楽譜の準備				

指導計画（授業の展開）	<p>①「魔王」という題名からイメージをふくらませて曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で何人かを歌い分けて表現していた。</li> <li>・魔王が近づいてくる感じがして怖かった。</li> </ul>	（※情報モラルの指導内容）
ひとりで4人の役を表現するための作曲や表現の仕方の工夫を感じ取ろう。		
	<p>②曲を聴き、それぞれの登場人物をどのように表現しているか感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魔王→<u>やさしく誘惑している</u>感じ（強弱・伴奏）</li> <li>・子→<u>どんどん怖さが増している</u>感じ（音程・強弱・伴奏）</li> <li>・父→子をなだめるように落ち着いている（低い声）</li> </ul> <p>③電子黒板で、伴奏を演奏している姿と手の動きを見る。 魔王→弾んでいる <u>やさしく誘惑している</u>のが分かる。</p> <p>④電子黒板で、子が「お父さん」と呼ぶ部分を比較する。 一音ずつ音が高くなっている→<u>どんどん怖さが増している</u></p> <p>⑤作曲や表現の仕方の工夫を感じながら曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも強弱のことばかり気にしていたけど、音の高さや伴奏の違いで表現の工夫できることが分かった。</li> </ul>	
ICTを活用した授業時の教師側（指導上）の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を鑑賞するときには、視覚的に見てしまうと様々なことに視点が向けられてしまう。そのため、今回は、「伴奏」と視点をはっきりさせてDVDを見せられるようにする。</li> <li>・音の高さに焦点を当てたかったため、その部分だけを比較できるように楽譜を抜き出して焦点化した資料を作成し使用する。</li> </ul>	
ICTを活用した授業時の児童生徒の反応	<p>アンケートをとった結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魔王」のピアノ伴奏の手の動きの速さがすごかった。CDだけでは分からなかったと思うから良かった。</li> <li>・電子黒板を見て、音が一音ずつ高くなっていることが詳しく分かった。</li> </ul>	
ICTを活用した授業後の評価（実践の手応え）	<p>登場人物の雰囲気は、ただ歌手が工夫すれば違いが出てくるわけではなく、作曲の上での工夫があるということに気づくことができた。いつもは、強弱だけで曲想の変化を感じ取ってしまうけれど、感じ取ったことを更に電子黒板を用いて深めることで、「音の高低」や「伴奏の工夫」にも意識を向けることができるようになった。</p>	
今後の課題	<p>電子黒板を歌唱で表現を高める場面でもっと活用していきたい。視覚的に見せていくことの良さを生かした授業づくりをしていきたい。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。